

9月13日：VN 指数は引けにかけて下落 (VN-Index -0.57%)

- 昨日上昇していたが、VN 指数は2023年初来の高値が抵抗線となっており、わずかに続伸して取引を開始した。
- その後も警戒感が残る展開で、指数は狭い値幅で上下していた。iPhone15 シリーズの発表によって小売り関連は底堅い動きだった。
- 午後に入り、一時は上昇トレンドになる場面もあったが、引けにかけて売り圧力が高まり、指数は下落へと向かった。
- その後押し目買いもわずかに入ったが、指数は下落したままだった。
- 192 銘柄が上昇、311 銘柄が下落、50 銘柄が変わらずと幅広い銘柄が売られていた。
- 下落を始めると同時に流動性は大きく増加し、売買代金は前日比で 29.6%増の 29.7 兆ドンだった。

VN30 指数は下げを主導 (VN30 -0.63%)

- 大型株で構成する VN30 指数は、9 銘柄が上昇、19 銘柄は下落、2 銘柄は変わらずだった。
- ビングループ関連三社の VRE (-1.7%)、VHM (-2.6%)、VIC (-1.8%) の下落が相場も重しとなった。その他、VJC (-2.8%)、GVR (-1.8%)、SHB (-1.6%)、VNM (-1.5%) などの大型株も下落した。
- 一方、GAS (+2.8%)、MWG (+3.0%)、VIB (+2.9%) といった銘柄は大きく上昇していた。

セクター・個別株の動き

- 原油価格が10か月ぶりの高値に達していることを受けて、原油・ガスセクターが最も買われていた。

- GMD (+1.5%) は米国の SSA Marine との戦略的提携を結んだことが好感され続伸となった。両社は Cai Mep Ha ロジスティクスセンターの開発に興味を示している。
- 外国人投資家はホーチミン市場で 1.2 兆ドンを売り越した。HPG が大きく売られていた。その他、STB、VHM、KBC も売られた。一方、SSI には買いが入っていた。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。